



かわい



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawai/>

練習は本番のように、本番は練習のように

校長 窪田 剛久

新1年生が入学して、1ヶ月が過ぎようとしています。新しい環境に少しずつ慣れ、小学生らしい姿勢や振る舞いが身に付いてきました。これからも様々な行事や学習を通して少しずつ成長していく姿を想像すると、楽しみでしかたがありません。



様々な行事と言えば、先日1年生にとっては初めてとなる、地震を想定した避難訓練を行いました。コロナ禍の中で2年間、密を避けるための簡易的な避難訓練に変更した時もたくさんありました。そうした中、まん延防止等重点措置の解除もあり、久しぶりに全校生徒で校庭に避難することができました。1年生にとって、また他の学年にとっても大変貴重な機会となりました。子ども達は緊張感を持ち、整然と訓練に参加することができました。

初めて訓練を経験した1年生も、黙って避難する先輩たちの姿を見習って、とても静かに参加していました。先輩たちも、良いお手本を示すことができたことに自信をもってほしいと思っています。まさに本番のような訓練でした。「練習は本番のように、本番は練習のように」とは、よく耳にする言葉ですね。私も昨年度の避難訓練で子ども達に話しました。最近になり、比較的大きな地震が頻発しています。とても心配ですが、年度が明けて初めての避難訓練で、あのように落ち着いた姿を見せてくれたかわいっ子は、本当に避難が必要なことが起きても、きっと落ち着いた行動をとることができると思っています。避難に要した時間は7分1秒17。これが次回の訓練での目標タイムになってきます。「お・か・し・も」の約束を守りつつ、できるだけ短い時間で避難できるように今後も訓練を重ねていきます。

こうした本番を想定した訓練や研修などを、私達職員も普段から行っています。つい先日は不審者対応研修を実施しました。校内に不審者が侵入した際の対応について、本番を想定したロールプレイを行いました。不審者役、担任役、児童役などに分かれ、緊張感をもって取り組む職員の姿に頼もしさを覚えます。と同時に振り返りの中で職員からも出てきましたが、内容をさらに本番に近づけ、想定を緊迫したものに変えていかないと訓練にならないのではないかと感じました。私たちの訓練や研修は、実態に即してその内容を見直し、日々アップデートしていかなければなりません。練習を本番のように行うために常に情報を集め、新たな知識を吸収し、プログラムを再構築していく必要があります。

さて、新学習指導要領が施行され3年目となりました。またコロナ禍によるGIGAスクール構想導入からは2年目、3年ごとにリニューアルする中期学校経営方針は、この春改訂して1年目です。このように日々新しい理論やシステムを取り入れ、学校はアップデートを繰り返してきました。それは、今の子ども達が生きていく少し未来の社会を想定した練習の場を、提供するためだと言ってもいいかもしれません。これからは私たちは歩みを止めず実態に即して、そして少し未来を想定してカリキュラムを見直していきます。子ども達が未来という「本番」を生き生きと歩んでいけるように、学校という「練習」の場をアップデートしていきたいと思えます。